

LET'S MAKE QUESTIONS!

“LET'S MAKE QUESTIONS”をお買い上げ頂きありがとうございます。

LMQは、動詞が「いつ!なぜ!どのように!」変化するのかわかりやすく、そして同時に楽しく学べるカードゲームです。また、LMQは応用が利くので、初心者から上級者まで合うようにデザインされています。

皆さんが私の教室と同じように、LMQでたくさんの成果と楽しい時間を得られることを願っています。

カードについて

5色の縁取りに色分けされた16種類のトピックカード・・・5色に色分けすることにより、ゲーム中、同じトピックを5回使うこととなります。これは、初心者にとって、ゲーム中練習文を使うチャンスが増えるので非常に良いこととなります。

カラーコードカード・・・更に進んだ生徒には、練習文を容易に変更するために、縁取りの色に対応してカラーコードカードを使うことができます(後述の使い方を参照)。言い換えると、同じトピックカードが連続しても縁取りの色は違うので、カラーコードカードに割り当てた練習文次第で、各トピックカードに対して作る文章は違ってきますので練習量はアップします。

ゲームについて

5つの基本のゲームを載せています。新しく追加したゲームはその都度ホームページに載せています。

'Dealer's Choice'がメインの「Teaching Game」になりますので、**最初に使って**、新しい練習文を教えるには最適です。

他4つのゲームは、生徒が新しい練習文を習得しやすくなっています。

追加した動画、ゲームやダウンロードは、ホームページをご覧ください。

アドレスは：https://www.thinkingworld.jp/games_j/index.html



ゲームの楽しみ方

ゲーム 1. DEALER'S CHOICE (2人かそれ以上)

新しい練習文の紹介に適しています。また、レッスンの最初に行うウォーミングアップ・ゲームとしても適しており、聞く力をつけるにはもってこいのゲームです！**先生は練習文を使う(言う)だけであり**、生徒はyes/noの短い答えをするだけです。

そして、生徒は全員で同時に答えます！

準備

1. 練習文を決め、使いたいトピックカードを選びます(必ず、各トピック毎に5色すべてを選んで下さい)。
2. 2つに分けます。1つは、ディーラー用(全てを同じ縁取り色、例：blueだけ)。もう1つはプレイヤー用の手札(例：残り4色のカード)となります。
3. ディーラーは、プレイヤー用から、各プレイヤーに7枚のカードを配ります。
4. プレイヤーは、配られたカードをトピック毎(“read a book”を一緒に、“watch television”を一緒に...)に持つのが良いです。

Note: 各プレイヤーの手札の数は、年齢により調整して下さい。

もし、'No!'の答えをたくさん練習したい時は、配るカードは4、5枚にして下さい。

やり方

1. ディーラーは、ディーラー用の一番上のカードをめくり、自分の前に置き、そのカードを基に質問を作ります。例：'Are you reading a book?'
2. プレイヤー達は、手札に同じ'read a book'のカードを持っていれば、**全て**自分の前に出し、'Yes, I am!'と答えます。
3. 同じ'read a book'のカードを持っていないプレイヤー達は、'No, I'm not!'と答えます。
4. ディーラーは、ディーラー用のカードがなくなるまで質問を作り続けます。
5. 手札を全て出した最初のプレイヤーが勝者となります。しかし...ディーラー用のカードがなくなるまで続け、勝者も'No, I'm not!'と答え続け、最後まで参加するのです。



Note: より進んだプレイヤーの時やさまざまなタイプの質問を混ぜる時、最後まで参加し、答え続けることがなぜ大切なのか、より明らかになってきます。'Dealer's Choice'は聞く力をつけるだけでなく、質問文に合った答えを出せる力もつくります。

Note: もし誰かが間違った答えを言っても、指摘することなく全員の答えが正しくなるまで質問を繰り返します。周りの人の答えを聞いて、生徒自身が間違いに気づくまで待ちましょう。なので、質問毎に、必ず**全員が同時に答える**ようにして下さい。

Note: もちろん、小さいお子さんなら'Yes!'や'No!'だけの返事で始めることもできます。

ゲーム 2. FIRST OUT (2人かそれ以上)

初心者と一緒に、'Dealer's Choice' の後にする最適なゲームです。やり方が 'Dealer's Choice' と似ているので、とっつきやすくなっています。違いは、練習文を使い慣れているということです。

準備

使いたい / 復習したいカードを選び(必ず、各トピック毎に5色すべてを選んで下さい)、よく切り、各プレイヤーに7枚のカードを配ります。プレイヤーは、配られたカードをトピック毎("read a book" を一緒、"watch television" を一緒...) に持つのが良いです。残りのカードは、テーブルの中央に裏向けて置き「山札」とします。

やり方

1. プレイヤー 1 は自分の前にカードを出し、そのカードを基に質問を作ります。
例: 'Are you drinking juice?'
2. プレイヤー 2 の手札が合えば、そのカードを自分の前に表を向けて出し(捨て)、'Yes (I am)' と答えます。
3. プレイヤー 2 の手札が合わなければ、山札からカードを1枚とります。
それが合えば、カードを自分の前に表を向けて出し(捨て)、'Yes (I am)' と答えます。
もし新しいカードが合わなければ、'No (I'm not)' と答え、そのカードを手札にします。
4. 全員の答えが 'No' の場合は、プレイヤー 1 はもう 1 周続けます。
5. プレイヤーの誰かが 'Yes' と答えたら、プレイヤー 2 が質問を作る番になります。
6. プレイヤーの内、誰か1人の手札がなくなるまで続け、手札が最初になくなった人が勝者となります。



Note: ゲームにかかる時間や人数によって、プレイヤー全員の手札がなくなるまでゲームを続けたいかもしれないですね。そんな時は、手札がなくなったプレイヤーも質問に答え続けるようにします！もちろん、答えは 'No' です。

Note: プレイヤーは、**1枚だけ**手札から出すことができます。(手札から複数枚出すことができた 'Dealer's Choice' とは、対照的なところです。)

ゲーム 3. MEMORY GAME (2人かそれ以上)

このゲームは'神経衰弱'としてよく知られていますが、ここでは、カードをめくって作る質問に「自分自身」で答えを作ります。2枚目にめくるカードが一致せず、答えが否定文の時は順番がうつっていきます。生徒のレベル次第や練習したい内容によって、答えは 'Yes I do' のように短くまとめる事もできますし、長くすることもできます。(例: 'Yes, I do. I watch TV every day. I love watching TV!')

準備

練習に使いたいトピックが一致した2色のカードを選びます。例えば、blue カード6枚と orange カード6枚をよく切り、裏を向けて並べます。

やり方

1. プレイヤー 1 がカードをめくり、そのカードを基に質問を作ります。
例: 'Are you drinking juice?'
2. プレイヤー 1 が2枚目のカードをめくります。
3. トピックが合えば、プレイヤーは 'Yes I am' と答え、両方のカードをもらいます。
もし合わなければ、'No, I'm not' と答え、両方のカードを裏を向けて置きます。
4. プレイヤー 2 の番です。
カードがなくなるまで交代し続け、手にしたカードが 1 番多い人の勝ちです。

Note: 小さな子供や初心者の場合、2枚目のカードが合えば 'Yes!'、合わなければ 'No!' だけ答えることもできます。あるいは、より簡単にトピックの名前だけ答えることもOKです...!

Note: 縁取りの色毎に異なった練習文を割り当てる事もできます。

例えば、blue のカードは 'Do you like to...?'、orange のカードは 'Do you want to...?'
あるいは、平叙文 ('I (don't) like to...' や 'I (don't) want to...' など)も使えて、応用範囲が広がります！

Note: 小さな子供の時、敗者を作らないようにするために“チーム”としてするのが良いやり方です。チームのメンバーが隣同士にならないようにし、1つのチームが2~3人の対戦がテンポ良く進みます。



ゲーム 4. SUPER DOMINO (2人かそれ以上)

同じ(縁取りの)色のカードを繋げていきます。自分の番の時、2枚かそれ以上使えるようにデザインされています。(時々4~5枚も!) これは、ひとつの練習文に異なったトピックを連続して当てはめることになるので、最高の練習になります!

準備

使いたいカードを選びます(必ず、各トピック毎に5色すべてを選んで下さい)。よく切り、各プレイヤーに7枚のカードを配り、残りのカードはテーブルに裏向けて置きます。これを「山札」とします。プレイヤーは、配られたカードをトピック毎(“read a book”を一緒に、“watch television”を一緒に...)に持つのが良いです。そして、山札の一番上をめくり、表向けて中央に置きこのカードをスタートカードとします。

やり方

スタートカードが green の“read a book”、練習文は 'I like...' か 'I don't like...' と仮定して説明しましょう。

1. プレイヤー 1 が green カードを1枚持っている場合 (図(1))

プレイヤー 1 は、スタートカードの左右どちらかに green card を置き、トピックを基に文を作ります。例: 'I like to watch TV!'

2. プレイヤー 1 が green カードを1枚以上持っている場合 (図(2))



スタートカードの左右どちらかに繋げて全て出し、カード毎に文を作ります。

3. プレイヤー 1 は green カードを持っていないが、他の色の同じトピックカードがある場合 (例: orange の“read a book”) (図(3)) そのカードをスタートカードの左右どちらかに置き、他の orange のカードもあれば繋げて出し、カード毎に文を作ります。



4. プレイヤー 1 が green カードも“read a book”のカードも持っていない場合、山札から1枚取ります。それが green カードなら使って文を作ります(図(1)と同じ要領)。あるいは、例えば pink の“read a book”なら、スタートカードの左右どちらかに置き、文を作り、手札にある pink カードも繋げて全て出し、カード毎に文を作ります(図(3)と同じ要領)。

プレイヤー 1 が終わったらプレイヤー 2 に続きます。

5. プレイヤー 2 は、green カードに続いて繋げるか、orange か pink カードに繋げるのか、あるいは同じトピックカードで色を変更するのか、はたまた、山札からカードを取るのか! どんどん繋げていきます!

Note: プレイヤーは繋げるカードを出し終わったら 'I'm finished!' と言い、次のプレイヤーの番になります。また、山札から取ったカードで繋げることができない場合は 'Nothing!' と言い、次のプレイヤーの番になります。

1度に違う色のカードを出す(繋げる)ことはできません! 最初に出すカードが green なら、繋げるカードは green になります。

1度にスタートカードの左右両方に置くことはできません! 一方に置いたら、そのまま繋げていきます。他方に合うカードを持っていたら、次の番を待ちましょう。

ゲーム 5. LET'S MAKE QUESTIONS (別名 HIGHEST CARD) (2人かそれ以上)

このゲームは "Filler Game" に最適で、30分にも30秒にも対応します。そして、手札のポイントで勝者が決まるので、誰でもが勝者になるチャンスがあります。又、ミニ会話へと進化することもできます。(後述の☆NEW☆ゲーム5-PLUSを参照)

準備

使いたいカードを選びます(必ず、各トピック毎に5色すべてを選んで下さい)。よく切り、裏を向けてテーブルに置き「山札」とします。練習文は、プレイヤー自身が決めることができます。

やり方

1. プレイヤー 1 は、山札から1番上のカードを取り、カードの数字は親指で隠しながら、他のプレイヤーに見せます。そして、そのカードを基に質問を作ります。

例: 'Do you like to watch TV?'

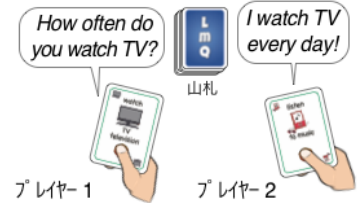


- 時計回りに、次のプレイヤーが山札からカードを取り、同じトピックなら 'Yes, I do'、違うトピックの時は 'No, I don't' と答えます。カードの数字は同じように隠します。
- 1 周したら、カードの数字を見せながらプレイヤー 1 から順番に 'I have x points!' と言います。
- 1 番高いポイントのプレイヤーが勝者となり、他のプレイヤーのカード全てを手にすることができます。
- 質問を作るプレイヤーを交替し、同じように続けます。

☆NEW☆ ゲーム5-PLUS

手札を基に答えを作る代わりに、自分自身のことをゲームを通じて話してみましょう。加えて、新しい質問をしてみれば本物のミニ会話に変えることができます。答えもより長めにしてみましょう！質問を作る人は、答えるプレイヤー毎に質問を変えても *okay* です！ただし、トピックに関する質問です！他のプレイヤー全員に回るまで続けていきます。もちろん、1 番高いポイントのプレイヤーが勝者となり、他のプレイヤーのカード全てを手にすることができます。

(ミニ会話の質問と応答例)



カラーコードカードの使い方

カラーコードカードは、色分けされた各色とトピックカードの縁取りの色を対応させて練習文を作ることができる特別なカードで、トピックカードの5色に色分けされた縁取りの威力を発揮させるカードです。1つのトピックが、容易に5つの文章に早変わりし、主語の変化による動詞の変わり方も、現在・過去・未来の文も、自然に身につくように工夫されています！

主語による変化

	+		=	Are you listening to music?
	+		=	Is Mary listening to music?
	+		=	Are Tom and Mary listening to music?
	+		=	Is everybody listening to music? <青色に例えば 'everybody' を割り当て>
	+		=	Are you and your friends listening to music? <紫色に例えば 'you and your ...' を割り当て>

時制による be動詞/一般動詞の変化

	+		=	Do you listen to music every day ? <現在形>
	+		=	Did you listen to music yesterday ? <過去形>
	+		=	Are you going to listen to music tomorrow ? <未来形>
	+		=	Were you listening to music when I called ? <緑色に例えば 'when I called' を割り当て>
	+		=	Have you been listening to music all day ? <紫色に例えば 'all day' を割り当て>

カラーコードカードを使えば、たとえ同じトピックカードがゲーム中に何度も出てきても、作る練習文は決して同じではなく、異なった質問のパターン、3人称、時制による動詞の変化などを理解するのに役立ちます。もちろん、トピックカードの縁取りの色とカラーコードカードの色を無視して、主語や時制などを固定し練習することもできます(例: トピックカードの縁取りが何色でも 'Mary' を使う文章を作るや、'yesterday' を使う文章を作るなど...)。その使い方は無限です。

カラーコードカードの使い方の動画や詳しい内容は、弊ホームページをご覧ください。アドレス: https://www.thinkingworld.jp/ccc_j.html

ゲームを始めるときに使える質問と答えの一例

- | | | | |
|--|---------------------------------|---|-----------------------------|
| • Are you <i>playing volleyball</i> ? | Yes, I am. No, I'm not. | • Do you like to <i>play volleyball</i> ? | Yes, I do. No, I don't. |
| • Are you good at <i>playing volleyball</i> ? | Yes, I am. No, I'm not. | • Do you want to <i>play volleyball</i> ? | Yes, I do. No, I don't. |
| • Are you going to <i>play volleyball</i> tomorrow? | Yes, I am. No, I'm not. | • Do you think that <i>playing volleyball</i> is fun? | Yes, I do. No, I don't. |
| • Is (name) good at <i>playing volleyball</i> ? | Yes, (s)he is. No, (s)he isn't. | • Did you <i>play volleyball</i> yesterday? | Yes, I did. No, I didn't. |
| • Is <i>playing volleyball</i> fun/boring/difficult etc? | Yes, it is. No, it isn't. | • Can you <i>play volleyball</i> ? | Yes, I can. No, I can't. |
| • Do you <i>play volleyball</i> everyday? | Yes, I do. No, I don't. | • Have you ever <i>played volleyball</i> (before)? | Yes, I have. No, I haven't. |

ゲームに使える英語/日本語の文をホームページに載せています。MP3 音声ファイルやビンゴ・シートも合わせてダウンロードしてお使い下さい！
https://www.thinkingworld.jp/download_j/index.html

